

市議会報

大野

No.43

発行 大野市議会

TEL 6-1111

(内線 303)

印刷 松浦印刷

安産を守る 子安観音

ご神体の由来ははっきりしないが今から約380年前、燃え上がる火の中から不思議にもご誕生されたと言われている。ふくよかな顔には優しい笑みを浮かべ、大変美しいお姿である。以来、安産の観世音菩薩として厚く信仰され、いまでも祈願のため多くの信者があとを断たない。

(管理は深井地区で行っている。)



昭和三十三年に市文化財に指定された子安観音

9月定例会市議会

大野市名誉市民条例など

13議案を可決、承認

一般会計に

9,993万円追加

第190回9月定例会は9月17日招集され、会期を26日までの10日間と決め「昭和55年度一般会計補正予算案」「名誉市民条例案」など、市長提案の13議案を審議しました。その結果、それぞれ原案どおり可決、承認しました。また請願・陳情を別掲のとおり決め、最終日には議員提案の「靖国神社公式参拝に関する意見書」を賛成多数で可決し、9月26日閉会しました。

9月定例会日程

- 9月17日 本会議（会期の決定、議案上程、提案理由の説明）
- 9月19日 本会議（一般質問、各案件委員会付託）
- 9月22日 産業経済委員会
建設委員会
- 9月24日 教育民生委員会
総務委員会
- 9月26日 本会議（各委員長報告、質疑、討論、採決）

一般質問

体育行政について

問 総合体育館の建設および、真名川河川敷グラウンドの整備経過について、また銀杏峰スキー場建設についての所信を伺いたい。

答 総合体育館の建設については、計画的に進めていきたいと考えている。河川敷の整備は、54年度から建設省において、河川環境整備事業として900万円の予算で事業を進めている。また55年度も同じく900万円が計上されている。何分国の財政事情の関係もあり非常に少ない予算になっているが、県では本年度はこの900万円をもって、昨年度低水護岸を行った地域について約1万平方メートルを整地し、利用してもらうという考えのようである。56年度の予算獲得については1,800万円を要求しているが、一部利用が出来るよう県に対し要望もし、市としても必要な施設については設置していきたい。

また銀杏峰の北側においてのスキー場建設計画は現在市へ提出されているが、高地なので雪質やコースの面からも、良好な状況であると思っている。現在の開発計画についても関係各課で協議をしているが、道路整備をはじめ関連問題も多く出て来ると思うので対応策を検討している。

道路融雪について

問 市内の幹線道路には、融雪装置があるが、今日の地下水節水という事情からほとんど使用されず、ブルドーザーによる除雪のため相当破損している。冬期間の道路融雪にだけは、地下水を使用するという確固たる位置付けを、市民のコンセンサスを得て行い、せっかくある施設を十二分に活用してはどうか。

答 市道の融雪については、地下水

保全の上から、現在ある程度規制しているが、市道の交通確保という点から、緊急やむを得ない場合には融雪施設を利用すべきではないかと考えている。そのためには市民の方々

のコンセンサスを得ることが大切であり、今後話し合いをしていきたい。

庁内機構の改善について

問 昭和54年度に制定された大野市行政管理改善委員会の成果はどのようになっているのか。また公共施設の構造について、身体障害者の方々が出入りなどに非常に不便を感じていると聞いているが、公共施設を建設する場合に福祉事務所などの連絡などが不十分でないかと思われる。

これについての考え方を聞きたい。
答 現在、行政管理改善委員会で色々と事務改善に取り組んでいるが、これまでは各課の事務事業の総点検に取り組んできている。当面の問題はまず窓口事務の合理化であり、これについてはプロジェクトチームを作り、市民課長を中心に検討しており、近く結論が出ることになっているが、さらに事務の簡素化・合理化のための改善に努力していく。

国においても、行政の合理化を打ち出しており、現在行政管理庁も地方に対する権限の委譲ということを柱としている。地方自治体はそうした行政の委譲を受けた中で、地域住民の要求にこたえていかなければならないが、住民サービスの低下を来さないようにするため、機構や人事管理等に困難な問題が多くあるが今後一層研究して行政の簡素化・合理化・能率化等を図っていきたい。



グラウンドに整備される真名川河川敷

また身体障害者の方々の公共施設に対する不便解消については、内容の改善を考え、今後建てる公共施設についても障害者の方々の利用に困難のないよう十分配慮していきたい。

下水道の 終末処理場について

問 下水道においては、終末処理場の建設が全工事の90%を占めると言われているが、現在の終末処理の進行状況を伺いたい。

答 公共下水道については、1日も早く終末処理場を確保するため、施設の青写真を早急に作成して地元の方々に提示し、話し合いを進めていきたい。

市政の重点施策について

問 市政を発展させるためには数多くの施策があるが、主たる計画の重点をどこにおくのか、またどれをどこまで進めるつもりなのか、決意の程を伺いたい。

答 市政の基本にかかわる重要施策については、当市のおかれている立場を地理的に、また財政的にとあらゆる面から、どう発展させていくかということについては非常に多くの問題を抱えており、何を選択するかまた優先順位をどうするかについては、私共の選択と市民が選択するものとをどう結合させていくかといふ

もうことが大きな課題である。私は第1に市民の要求にこたえていかなければならないと考えている。

そうした中で、国道158号線の改良は当市にとって色々の問題解決のために最も重要な課題であるが、現在の国の予算配分では当市に至るまでの実現には程遠いものがあるので道路改良そのものを根本的に考え直し、新たな観点に立って国・県と協議し、強力に進めていきたい。

また当市から油坂に至る間についてもまだ十分に改良されておられない箇所もあるので今後とも国に対し要望をしていく。

油坂トンネルについては、来年度国の直轄事業として取り上げてもらうよう要望している。

また国道157号線の改良も当然急を要するので、国での予算化に努力している。

市民病院の問題については、現在は休日・急患センター建設がまず第1と考えている。また市街地・駅東間の連絡問題もあるが、今後とも国鉄当局に嘆願していきたい。

水稻の凶作について

問 ことしの冷夏は稲作に大きな影響を与え、非常な不作となっている。

農林省統計では98%と発表してい



ことしの稲は冷夏と台風による倒伏等で大幅に減収

るが、当市の実情は70%程度であり市はこのような作況指数に対しどう対応しているのか。

また補助や転作面についての考えも伺いたい。

答 農林省統計の作況指数については、作見当初の分けつおよび粒数などの状況から予想されたものと思うが、われわれが考えているよりも非常に高いと思っている。以後気象条件も回復せず、いもち病の発生、また台風等による倒伏が相当多くなっており、9月16日現在の市独自の調査では早稲20%、中稲15%、晩稲10%、平均して17%ぐらいの減になるだろうと予想している。市としては県に対して順次こうした作況指数を報告しており、今後も適切な対応を講じていきたい。また56年度の農業に対する助成についても、今後県とよく協議して考えていきたい。

水田利用の第2期転作については18%を予想し、各関係機関、集落等においても座談会で推進方をお願いしているが、全国的な作況指数から推量すると国の第2期転作目標は、ほぼわれわれの予想している面積になるのではないかと考えている。

しかし割り当て決定が遅いために対応する農家では非常な迷惑をされており一日も早い割り当てが要望されているので、少しでも早く対応してもらうために、予想目標面積をもって転作作物についての座談会も開いて、推進方についてお願いしている。

水田利用再編対策について

問 われわれ農民にとっては転作を余儀なく強いられ、これに対応するため大野の特産を生かした里芋・イチゴなどの作付けを行っているが、来年の18%というような指数に対応し切れず、地域集団転作事業も取り入れ麦の転作推進なども図っている。

市においても補助などを考えてほしい。また安値補てん制度についても流通機構の中で生産過剰になり、取引価格が暴落してきたので、生産農家の安定を図る上から三者の基金

教育委員会委員 の任命に同意

10月10日で任期が満了した委員の再任につき議会の意見を求められ、9月26日の本会議において任命に同意した。

上田 範男 (昭和3年1月30日生・森政領家第4号4番地)

南 正雄 (大正8年2月4日生・田野第21号8番地)

造成を来年度から現在の倍額に出来ないか。

答 第2期水田再編対策が来年から始まるが、18%以上の転作をしていくことになると、労働力にも限界があり容易なことではないので、集団的な対策が必要である。市としても推進する必要があり補助なども考えなければならない時期に来ているのではないかと思う。安値補てん制度についてはことしの結果を見なければ確たる数字をは握することはむずかしいと思うが、市が主要転作物として勧めている里芋・イチゴなどについては、価格をある程度保証しなければならないと考えているし、基金についてもその時点で考えていかなければならないと思っている。

農村環境の整備について

問 都築紡績の進出に伴い、国の工場再配置の適用を受け得るものと思っているが、周辺の地域振興と環境整備を図ってもらいたい。

また農村総合モデル事業の計画樹立についても市長の考えを聞きたい。

答 都築紡績工場は現在建設中であるが、その周辺地域の整備については、市としても十分対応いたすべく努力をしていきたい。

農村総合モデル事業については、55年度で312万円を計上しており、55・56年の2カ年でこの計画を樹立して、57年から農林水産省の補助事業としてのモデル事業を導入すべく目下計画書を作成中である。

委員会活動

— 委員長報告から —

●産業経済委員会

① 企業誘致について

本年当初に、都築紡績の進出が決まり、来春3月末を操業目標として準備が着々と進められているが、雇用計画については、来春卒業者ならびに一般公募による地元採用者の身分の安定化を図るよう、また工場立地に伴う道路、排水などの環境整備についても地区住民の生活環境を阻害することのないよう、将来計画も含め地元・企業・理事者間において十分な協議がされるよう要望する。

② 大東染工の移転について

工場移転計画は、54年から年次計画が立てられ5ヵ年をもって完了するとのことであったが、現状は遅々として進んでおらず、こうしたことは農地転用許可条件にも相違すると思われるので、関係課でよく協議をして早期移転、計画変更等の届出などについてよく話し合いを行い、地区住民の納得が得られるよう万全を期するよう要請する。

③ 宝慶寺いこいの森の管理について

自然の中での研修施設として、またレクリエーションの場として好評を得、利用者も多いと側聞しているが、キャンプ施設で宿泊する場合に管理人が不在のため、連絡事項などで大変困るので利用者には不便を与えないよう要望した。

●教育民生委員会

① 休日・急患センターについて

休日・急患センターは保健センターと併設し明年度着工の予定であるが、建設場所の選定に当たっては将来の総合病院の建設をも考慮の上、敷地を決定すべきとの意見が述べられた。

② 阪谷小学校の建設工事について

本工事は、7月21日付で請負契約の締結、同日着工届が提出されているが、実態は8月23日起工式挙行と1ヵ月程度着工が遅れており、現在鋭意工事の遅れを取り戻しつつあるが、本工事の施行状況を見ると、1次指名入札で不調となった業者が、大野市工事請負契約約款には抵触しないとはいえ、実際に下請けしていることは、市民の不信を買う原因にもなり、はなはだ遺憾である。

今後の公共施設建設に当たりかかるとのことのないよう厳正に対処するよう意見が開陳された。

●建設委員会

① 土地の先行取得について

駅前清滝線、新庄東中線など今後施行予定の街路事業物件移転用地を始め、公共事業における用地確保は代替地を必要とするので、南部第2土地地区画整理事業の早期着工と土地開発公社の先行取得について積極的に対処するよう強い意見が述べられた。

② 昭和54年度の大野市水道事業会計決算認定について

審査の過程で論議が集中し、今後理事者において十分検討すべきであると指摘した主な事項は次のとおり。

(ア) 水道加入金、工事負担金などの未収金が784万円余りになっているので、色々の事情もあるとは思われるが積極的に徴収に努めるよう要望する。

(イ) 利用率の向上について、現在の加入状況は対象の1,134戸に対し695戸で、加入率は61.3%と低く、その上基本料金のみで家庭が全加入者の87.5%という状況である。このような状態では今後の本会計の財政運営にも大きく影響するので、水道利用の徹底と、新規加入促進などの企業努力を強く要望する。

(ウ) 今後の2期・3期計画に当たっては現状を握し、地域住民の協力を得て推進するよう要望する。

●総務委員会

① 市広報の周知徹底について

広報事業は市の行政推進の上からも極めて重要であり、加えて本年4月からは市民生活に直結した各課のお知らせ事項全般についても掲載されているので、市民の方々に市報の重要性をよく理解してもらい熟読されるよう、また配布方法についても再検討するようとの要望がなされた。

市民から提出された請願・陳情

採択されたもの		
番号	件名	提出者
請願8	林道モッカ平線の早期着工について	春日149-2-1 伊藤 譲外20名
請願9	上庄小学校改築について	上庄小学校改築促進委員会 委員長 森広利久外17名
請願10	市道編入について	下麻生島区長 堂林 博
陳情1	自転車置場の設置について	大野地区労働組合協議会 会長 斉藤龍児
陳情3	義景保育園跡の施設利用について	5分団区長会理事 山田善夫外8名
陳情4	国道より市道の格下げについて	菖蒲池区長 松田松次郎外85名
陳情5	大東染工株式会社の公害について	大和町公害対策委員会 大和町1区区長 河合七松 外2区長
継続審査となったもの		
請願7	高齢者はり・きゅう及びマッサージ療養費の助成について	大野鍼灸マッサージ師会 会長 酒井 清外12名